

# 令和2年度 長崎県立口加高等学校 学校関係者評価 報告

## 1 評価の実施期日・場所

- 第1回 令和2年7月 3日(金) 本校会議室  
 第2回 令和3年2月24日(水) 本校校長室

## 2 学校関係者評価委員

- |       |       |              |    |
|-------|-------|--------------|----|
| 宮崎 太  | 学校評議員 | 7 / 3・2 / 24 | 出席 |
| 渡部 博  | 学校評議員 | 7 / 3・2 / 24 | 出席 |
| 和田 忠  | 学校評議員 | 7 / 3・2 / 24 | 出席 |
| 濱田かよ子 | 学校評議員 | 7 / 3・2 / 24 | 出席 |

## 3 学校関係者評価の内容

<p>諮問内容</p>	<p>1 令和2年度学校教育方針・努力目標等について                  2 学校概要・現況報告                  3 学校評価について</p>
<p>意見・助言等</p>	<p>①多様な進路希望の生徒がいる。                  ②発足当時、グローバルコースの目指すところが曖昧で分かりにくかったが、特別進学コースと明言して志望者が増えた。                  ③福祉科の志願者が少ない。中学3年生で福祉科へ決めるというのは躊躇されるのではないか。                  ④募集活動は更に頑張りたい。半島外の私立にすると通学時間もかなりかかる。様々な面で地元の学校、口加高校の魅力を訴えて欲しい。また、バス代の補助についてはどうなったのか。                  ⑤中学校へ訪問しての説明会が好評である。迷っていた生徒が説明を聞いて、安心して口加高校へ出願を決めたとの話も聞く。                  ⑥募集に関しては、奨学金や補助金の説明も含めて中学生に説明した方が良い。福祉施設独自の奨学金などもあり、利用できるものは多いはずだ。                  ⑦保護者は安定した職業を求める。公務員就職の実績も重要だ。                  ⑧進路実績が重要だ。中学校時代にトップクラスの次ぐらいだった生徒が結果を出すと、良い手本になる。南有馬以北でも、口加高校が結果を出せば、島原市の進学校でなく口加高校を選ぶ生徒も増える可能性が十分にある。                  ⑨口加のホームページはよく頑張っているが、私立も頑張っている。保護者目線の内容も増やしてはどうか。                  ⑩介護実習に来る生徒は意欲もあり、まじめである。                  ⑪新型コロナウイルスのせいで明るい話題が減ったなか、報道に口加高校の名前が出ると嬉しい。子どもにも誇りになる。                  ⑫学校に来ることができない生徒にどのような対応をしているのか。</p>

対 応 等  
(数字は上記の意見・助言等に対応)

- ①多様な生徒に対応できる科やコースの設置を進めてきた。教育課程も各科・コースの特色を生かせるよう再編した。今後も進路実現のニーズに応えることができる学校であるように努める。
- ②当初は「英語をするコース」と理解されていたため、英語が得意でない生徒が敬遠したという話も聞いた。4年制大学を希望する生徒対象に基礎から「伸ばして」難関レベルまで引き上げるコースであることを学校説明会でも伝えて理解を図った。
- ③今年度は福祉科についても、全員が介護職に就かなければならないということではなく多様な進路先が考えられることをしっかりと中学生や保護者に伝えるようにしたため、年度途中から志願者が増えた。介護職以外の進路を選ぶ生徒の指導にも力を入れていく。
- ④通学時間の差については今後も訴えていく。バス代の補助については実現が難しい状況である。
- ⑤説明会についてはコロナ禍にあってもできるだけのことをした。今年度は科・コースの特徴だけでなく卒業後の進路や、高校出願時の第2、第3志望の決め方なども丁寧に情報提供するようにしたため、より参考にしていただけるものになった。
- ⑥奨学金等については在校生への説明が主となっており、中学生や保護者への説明は十分になされていなかった。経済的負担の不安が軽減されれば安心して出願できることにもつながる。貴重な助言を頂いたので来年度の募集活動に反映させたい。
- ⑦説明会で公務員について質問を受けることもあり、本校でも指導を強化しているところである。さらに指導計画の整備を図る。
- ⑧グローバルコースが特進化して、特進1期生(現2年生)、2期生と徐々にではあるが学力も向上している。指導とその結果の両面で「進学ならば口加」と思っていただけのように全力を尽くしたい。
- ⑨更新の頻度も高く、好評を得ている。新たな視点も取り入れて、より充実した内容にしていく。
- ⑩生徒にとって大変貴重な研修の場となっている。教育の場であると同時に地域の福祉人材育成・確保の観点からも、今後とも協力をお願いしたい。
- ⑪複数の新聞社、テレビ局に取材を依頼する体制を取っている。今後も積極的に情報提供を行っていきたい。
- ⑫担任、学年、保健相談部、教務部、管理職で対応にあたっている。簡単に解決策が見つかるとは限らないが、生徒、保護者に寄り添い、最善の方法を考えながら指導していく。